

青山

発行／梅窓院 編集／青山文化村
発行日／平成15年10月1日
発行人／中島 真成
住所／〒107-0062東京都港区南青山2-26-38
電話／03-3404-8447
FAX／03-3404-8107
ホームページ／http://www.baisouin.or.jp/
E-Mail／jodo@baisouin.or.jp

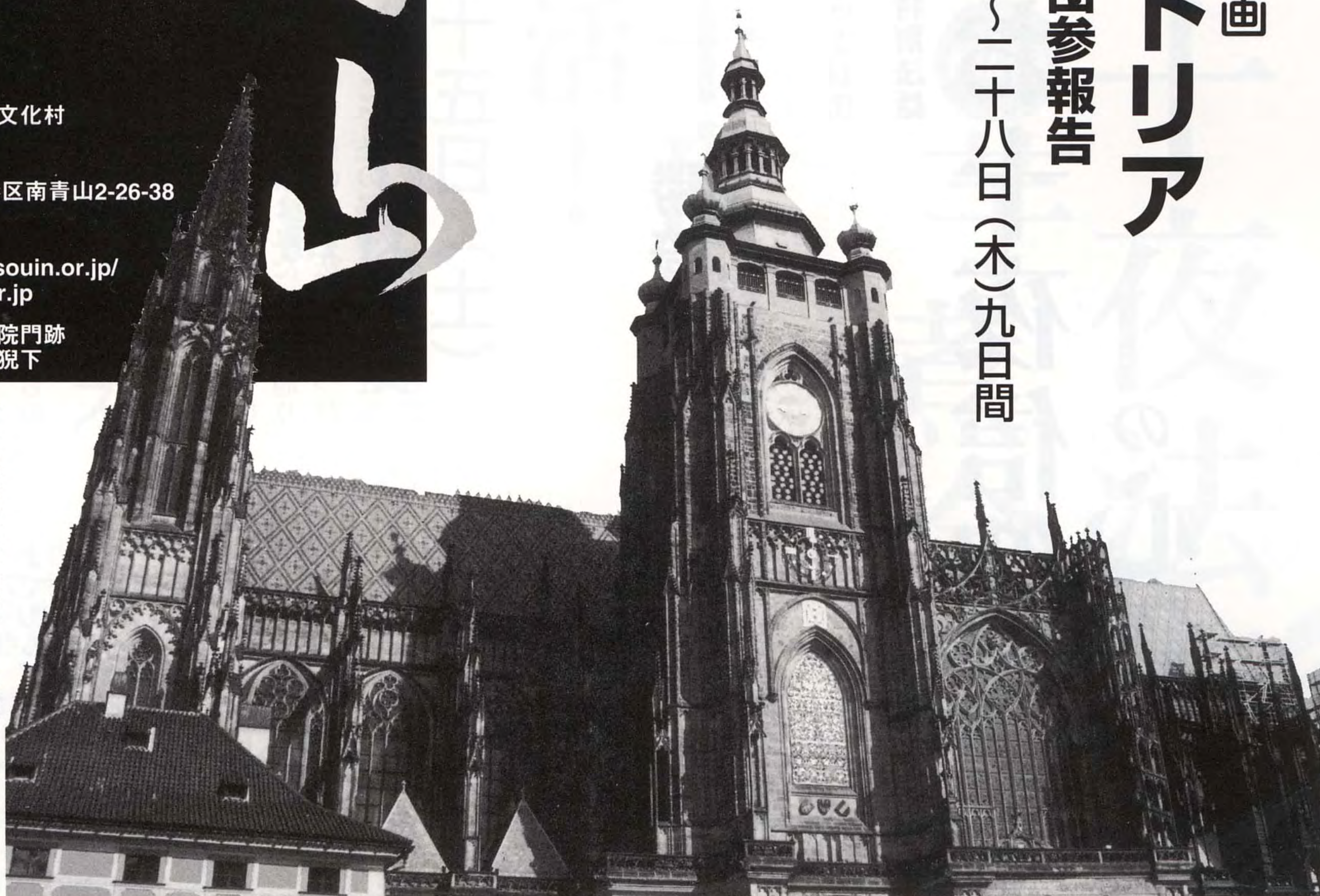
題字／浄土門主総本山知恩院門跡
第八十六世中村康隆猊下

三ヶ寺共同企画

オーストリア プラハ 団参報告

八月二十日(水)～二十八日(木)九日間

プラハ城内にある聖ヴィート大聖堂。
プラハのゴシック様式を代表する建物。



ウィーン郊外にあるシュトルツェンドルフ城前にて、
フック氏と共に記念撮影。



中世と現代のピアノを引き
比べ音色の違いを解説。
(写真提供：中外日报社)

傳通院・祐天寺・梅窓院共同
企画となる海外団参。
本年度は梅窓院と縁の深いピ
アニスト、ファンデンフック
氏の活躍の場、ウィーンを訪
問。お寺を文化交流の場にと
いう理想に向け動いています。

管理棟竣工式にて。

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成



新生、梅窓院

この九月に新しくなった梅窓院で郡上
おどりが催されました。天気にも恵まれ、
多くの人で境内が埋め尽くされました。
郡上の物産展、飲物や食べ物屋さんも大
忙し。そして、何より皆さんの輝いた顔
が印象的でした。

さて、この郡上おどり、地元の商店街
が中心となり、郡上町と梅窓院の協力で
開かれています。今回は新しい梅窓院が
マスコミに取り上げられたこともあり、
取材もかなりありました。新聞などの記
事を読まれた方もいらっしゃるでしょう。
そしてこの十月には十夜法要を復活さ
せます。十夜法要は浄土宗ならではの行
事で塔婆十夜、風誦文十夜といった特別
な呼び方をされるお寺もあります。梅窓
院も梅窓院ならではの行事にし、壇信徒
の皆さんはもちろん、地域の人たちにも
集まってもらいたいと思っています。

建物という箱が完成し、これからはそ
のの中身、いわゆるソフトを充実されてい
く予定です。これに関しては読者のみな
さんからもお知恵を拝借させていただき
れば幸いです。

新生梅窓院の原動力はこのお寺を訪ね
てくれる皆さんなのですから。

戦前の恒例行事、
お十夜が
新生梅窓院に
復活します。

秋天高く青く澄みわたり、
白雲清く美しく流れゆく。さ
わやかな秋の秀気好風に誘わ
れて、お十夜の季節の到来で
ある。まさに秋といえ、お
十夜は浄土宗の年中行事の定
番で、全国の各寺院で営まれ
る十夜法要は年々歳々のもの
である。

もつとも俳諧の方では、お
十夜は冬の季題である。お十
夜は、かつては陰暦十月五日
の夜から十五日の朝までとい
う期間で営まれた、文字通り、
十日十夜の念仏法要であった。
そこで冬の部類に採り入れら
れたお十夜は、まことに豊富

勝崎裕彦
大正大学助教授
東京女子大学講師

特別法話

お十夜信仰 の心得

な季語を持つている。それら
を列記してみると、十夜会・
十夜法要・十夜寺・十夜堂・
十夜塔婆・塔婆十夜・諷誦文
十夜・十夜講・十夜僧・十夜
鉦・十夜鐘・十夜粥・十夜婆
・十夜柿・蛸十夜などさまざ
まである。このようにお十夜
にまつわる季語が多いのは、
名句秀句もそれだけ多いわけ
であるが、実は、お十夜が広
く信仰され、人々によく親し
まれていた証しでもある。

月影や外は十夜の人通り
(正岡子規)

十夜法要は、浄土宗の根本
經典である「浄土三部經」の
一つ、「無量壽經」の教えに導
かれて行なわれるようになった。
——この世の中で善行を
十日十夜修めることは、仏の
世界で千年の間、善行をす
ることよりも尊くすぐれている、
という經文の教えによつ

て、善行を心より修め、善行を
広く勧め合う念仏法要である。
元來は、十日十夜の別時念
仏行である十夜法要。それを
日程などの都合から、七日七
夜、三日三夜、一日一夜に縮
めて、現今では、好季十月、
十一月の一定の期日を定めて、
各寺院で勤められる十夜別時
念仏会である。称名念仏を秋
天の天空へ向けて高く大きく
唱和し、十夜寺・十夜堂の寺
内・堂内をいっぱい、ひた
むきにひたすらな修善修行の
時とするのである。

仏典に「止惡修善」という
言葉がある。読んで字のごと
く、惡を止めて善を修める、
ということである。悪いこと
をしないで、よいことを行な
うこと——、人間生活の基本
としてもつとも大切な心構え、
心掛けであろう。お十夜の念
仏行は、この止惡修善の意義
を同信・同行とともどもに
「南無阿彌陀仏」とお念仏を称
え合うことによつて、心に確
かめ合うのである。

お十夜の信仰生活は、人間
としてのよりよい生き方、よ
り正しい生き方をはるかに願
い求めて、悪いことをできる
だけしないように、少しでも
多くよいことをするように、
念仏信仰に心を集め、寄せ合
うことによつて、自分一人だ
けでなく、まわりの人々と一
緒になつて祈り念ずること
である。まずは、お十夜念仏の

9月の行事

九月十三・十四日

郡上おどり in 青山



おどり in 青山 開催
落し、一年ぶりに梅
窓院に集まった郡上おどり。
1000人の人出があり、
盛り上がりました。



十夜法要

with 芋煮会 in 青山

浄土宗ならではの
特別法要

”お十夜“が 復活!

十一月十五日(土)

午後四時〜 十夜法要

午後五時〜 法話

本堂棟一階 観音堂

午後五時半〜 芋煮会

境内／観音堂エントランス

〈参加費・無料〉

浄土宗ならではの法要を、
芋煮で味付けしてお待ちしております。

日の「一日一善」から心掛けて、やがては「一生積善」の念仏人生を目指して、私たちの生活と精神のよりどころを定めたい。

いよいよ梅窓院十夜会の日が迫って参りました。

当日最初に行います十夜法要では、皆さんと共にお念仏をお唱えし、無量寿経にも説かれてある通り、仏の国での千年にも勝る善行をこの機会に是非積んで頂きたいと思えます。

そして法要の後は住職の法話です。お話の中から、何か普段の生活にプラスになるヒントなどが見つかると思います。

最後にお斎としまして、「芋煮会」を企画しております。皆さん、鍋に入れる食材を何でも結構ですので、一品持ち寄って頂き、皆さんで味を出していきたいと思えます。ハラハラドキドキ楽しみですね。更に、お子様も楽しめるような愉快なゲーム等も企画し

ておりますので、ご家族皆さんでお越し下さい。

なにごん初めての試みで、至らない点もあるかと思いますが、皆さん共々、和気藹々と協力し合ってやっていきたいと思っております。奮ってご参加下さい。

「お持ち頂くもの」
輪袈裟・数珠・食材（鍋物材料 例…にんじん・お芋など）

出欠／十夜塔婆申込み方法

同封の葉書で十一月七日までにお申込み下さい。
塔婆回向料は一万円とさせていただきます。

お支払方法

振込用紙に記入の上、郵便局にてお支払下さい。（銀行でのお振込みは出来ません。）
または、当院受付に直接お持ち下さい。



郡上踊り保存会認定の免状をもらう泉さん。(中央) 中島住職とともに笑顔の一枚。



第10回 郡上復興事業も一掃窓院境内で開2日間で延べ6大盛況となり

・ 行 ・ 事 ・ 予 ・ 定 ・



十夜法要

十一月十五日（土）
午後四時より
観音堂／境内

浄土宗宗祖法然上人 八〇〇年遠忌記念御巡教

法話／大本山金戒光明寺
御法主坪井俊映台下

十一月十九日（水）
午後一時より

（十二時半より受付）

本堂棟 地下二階 祖師堂
参加費／無料

主催／浄土宗東京教区城西組

城西組教化団

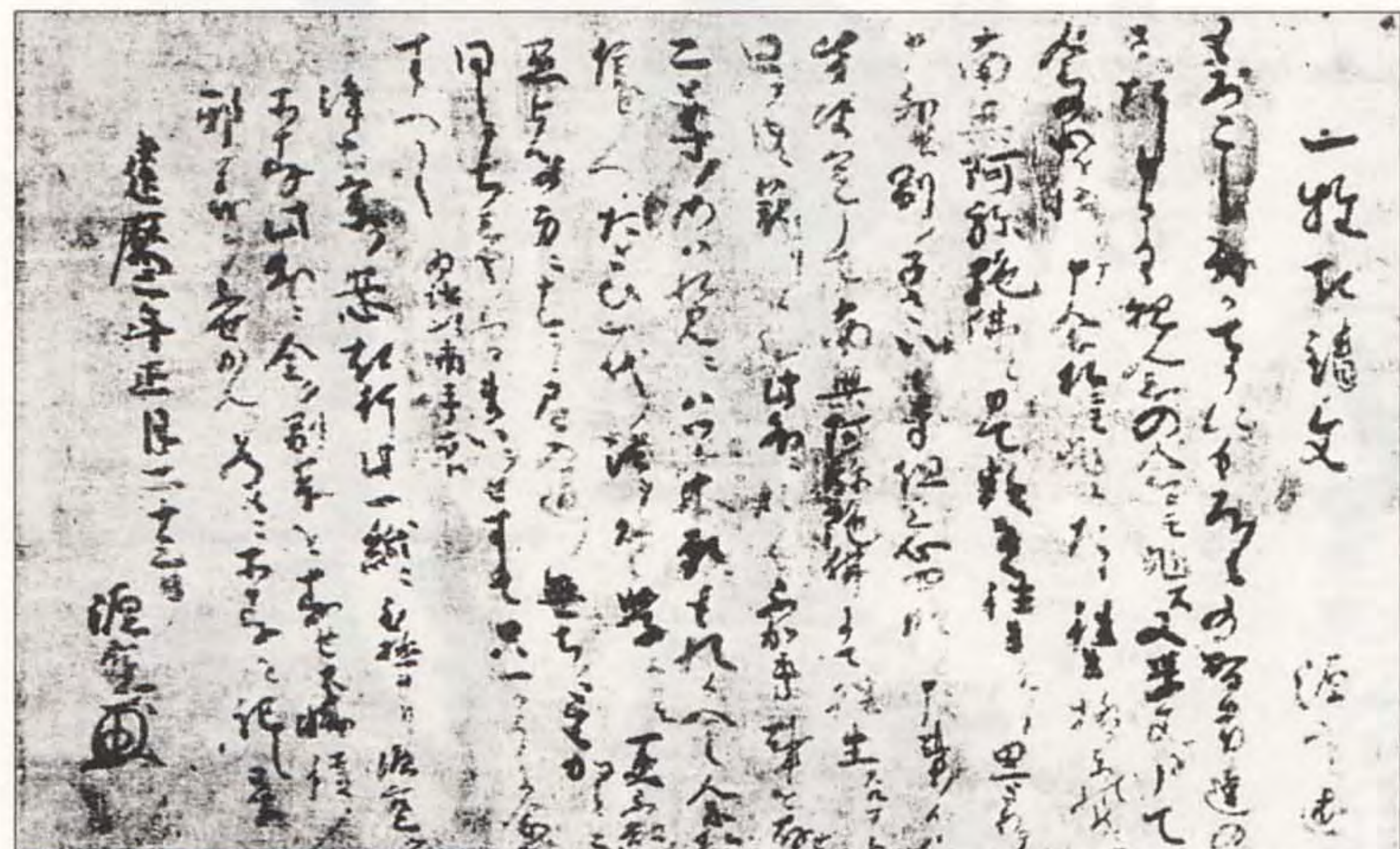
後援／城西組寺院婦人会

城西組青年会・梅窓院

お問合わせ／城西組教化団

〇三・三三七七・三五〇五

法然上人御遺訓一枚起請文
（大本山金戒光明寺蔵）



ご葬儀にあたってのお願い

—もしも場合は梅窓院に
ご一報下さい—

最近では医療技術が発達し、病院で亡くなられる方が全体の九割を占め、「最期を自宅」という事が、なかなか難しい時代となっております。

そんな中、病院で葬儀屋さんへ声をかけられるというケースも増えてきています。ご身内が亡くなるという特別な心理状態の中、すぐに葬儀式を行うには不安も多く、葬儀屋さんの提案をそのまま受け入れてしまうのも無理ならぬ事と思います。とはいえ、

できればお寺にご一報いただきたいのも事実です。

こうした事を受けて、梅窓院では普段から葬儀式に関するお悩み、ご質問を受付けております。

皆さまとよく話し合った上で、大切な儀式を執り行つて参りたいと考えております。

万が一の際は、葬儀屋さんとのお打合せの前に、梅窓院へご一報頂きます様、重ねてお願い申し上げます。大切な生老病死の問題を、お檀家の皆さまと共に考えていきたいと存じます。
（法務）

編集後記

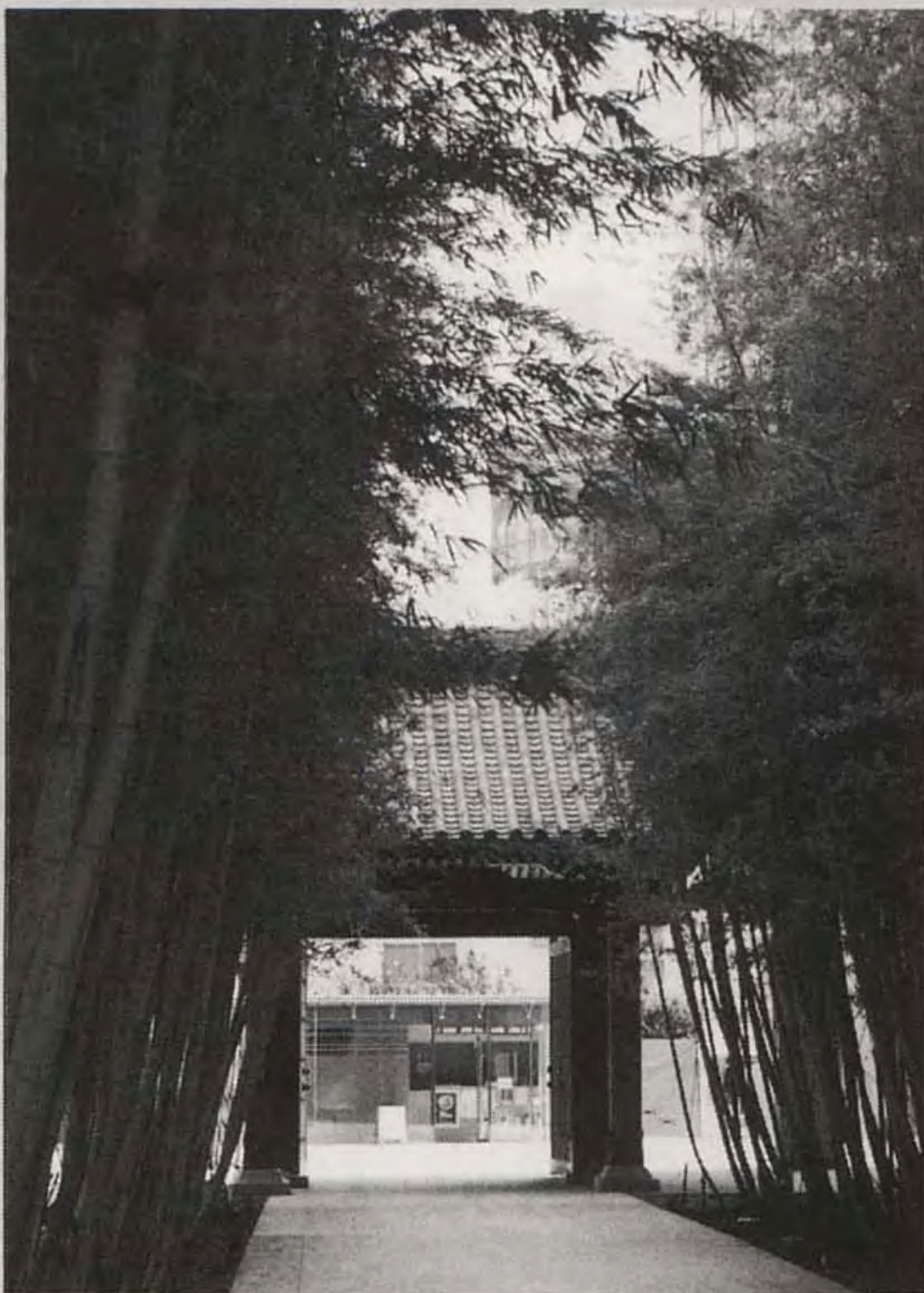
十夜法要にあわせ、「青山」十夜号をお届けします。法話を勝崎裕彦さんにお願し、十夜法要をたっぷりご紹介。今まで興味の薄かった方々も、少しでも関心を持って頂けたらと思います。

実はお楽しみ会でもある芋煮会にも力が入っています。何分初めてなのでどうなることかと不安もありますが、普段とは違った仲間で芋煮をつき語りながら、楽しい一時が過ごせることと期待しております。ぜひご参加下さい。

◆梅窓院だより◆

山門復興

復興事業の為、解体保存されていた山門がついに完成致しました。竹林と山門の風景は新たな梅窓院のシンボルとなりそうです。



墓地管理棟完成

梅窓院墓苑内に墓参の方専用の休憩所とお手洗いが完成し、九月十八日に竣工式が執り行われました。皆さまどうぞご利用下さい。

